

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

2021年 3月 11日

和泉市長 あて

団体名 パソコン会

代表者名 迫田 千鶴

所在地

電話

令和2年4月23日付け 和泉公民 第223号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 34,809 円
(うち、対象経費 34,689 円)
2. 交付決定額 20,000 円
3. 添付書類
 - (1) 事業報告書（様式第12号）
 - (2) 収支決算書（様式第13号）
 - (3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

事業の名称	障がい者のためのパソコン教室
事業内容	<p>（主な対象者） 和泉市在住の障がい者</p> <p>（事業の実施期間） 令和2年6月～令和3年2月 毎月第4木曜日 1～4時</p> <p>（事業の実施場所） 和泉市北部福祉会館</p> <p>（事業内容） パソコンの技術及びインターネットの利用に関する教室の開催</p>
事業の成果	<p>（参加者・スタッフの人数の状況） 参加者数 のべ20人、 スタッフ数 のべ32人</p> <p>（参加者の声）事業を受ける前、受けた後 コロナ禍の中でも参加出来て、うれしかった。 インターネットが使えるので、それがうれしい。</p> <p>（事業を実施したことによる目標達成状況及び効果） 障がい者の外出する機会があることで、家に閉じこもりがちな方が外出する機会が増えた。 パソコンの技術を習得し、生活の向上に役立っている。 積極的に社会参加をめざす意欲が出てきた。</p> <p>（今回の申請事業の反省点） コロナの影響で、参加者を8人（スタッフ4人を含む）に絞るように言われ、毎回参加者を4人選んだが、当日体調が悪く参加できない人もいて、選ぶ必要がなかったのではないかと、後悔している。コロナで開催できなかった月もあり、残念だった。</p>
課題（今後の方向）	<p>新しい参加者を増やすことが課題です。3か所のデイサービスの事業所に、チラシを配架させてもらったり、掲示板に貼らせてもらっている。</p> <p>サポートして下さる先生方も高齢化し、年齢のことも考えてほしいと言われている。 ご主人が亡くなられて、代わりにパートナーの方が来てくださったりしている。サポーターの先生方の確保が課題です。</p>

（添付書類）事業内容のわかる写真4～5枚（写真は返却いたしません。）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称： 障がい者のためのパソコン教室

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠等
支援金	17,344	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	2,000	会費(1回100円)
自主財源	15,465	自己資金
合 計	34,809	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠等(数量、単価等)
報償費	20,000	パソソ講師謝金(サソネット)18,000円 ボランティアスタッフ(介助及び雑務) 謝金2,000円
印刷製本費	35	コピー代
役務費	2,940	切手代、葉書代
消耗品費	5,202	インク代
食料費	2,512	講師お茶代
旅費	4,000	教室運営のための交通費500円×8回
印刷製本費 (対象外)	120	写真印刷代120円
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	34,809	
対象経費	34,689	

※費目は、別表(第9条関係)に記載されているとおりに記載してください。

※備品費(対象経費)には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

(添付書類)

- ・ 事業の経費に係る領収書(原本)